

[成果情報名] 早生で大果の完全甘ガキ「太秋」の生育および果実特性

[要約] 「太秋」は、果実重が約300gあり、果肉がサクサクとした食感で食味がよく、糖度も「松本早生富有」と同等である。成熟期は10月下旬である。

[キーワード] 完全甘ガキ、太秋

[担当] 長崎果樹試・生産技術科

[連絡先] 電話0957-55-8740、電子メールs26700@pref.nagasaki.lg.jp

[区分] 果樹

[分類] 指導

[背景・ねらい]

長崎県内でのカキ栽培の主要品種「富有」は、経済栽培性に優れた品種であるが、県内での栽培面積および県内産のカキの流通は少ない。そこで、大果で食味の優れる早生系品種を選抜する。

[成果の内容・特徴]

1. 「太秋」の萌芽期は「松本早生富有」に比べ5日程度早く、満開期は同程度であるが、成熟期は「松本早生富有」に比べ10日程度早い10月下旬である（表1）。
2. 果皮色及び糖度は、「松本早生富有」と同等である（表2）。
3. 果実重は、「松本早生富有」より大きく300g程度である（表2）。
4. 品種の特性として成熟期に果頂部を中心として条紋が発生する（図2）。

[成果の活用面・留意点]

1. 条紋の発生は成熟後半の急激な土壌水分の変化とされるため、条紋の発生を軽減するためには土壌水分の適正な管理が必要である。
2. 樹勢が低下すると雌花の着生が少なくなるため、樹勢の維持が必要である。また、隔年結果性があるため、予備枝の設定を行う必要がある。

[具体的データ]

表1 満開期と成熟期

品 種 名	調査年 (年)	萌芽期 (月日)	展葉期 (月日)	満開期 (日)	成熟期	成熟 日数
太 秋	2002	3.19	3.30	5.13	10.21	161
	2003	3.10	4. 1	5.12	10.28	169
	2004	3.22	4. 1	5.11	10.18	160
	2005	3.21	4. 8	5.11	11.21	194
	2006	2.27	4. 4	5.15	—	—
	2007	3. 4	3.29	5.15	10.26	164
	平均	3.12	4. 1	5.12	10.29	170
松本早生富有	6カ年平均	3. 7	3.29	5.12	11. 9	180

表2 果実品質

品 種 名	調査年 (年)	果実重 (g)	果皮色 (C.C値)	糖度 (Brix)	
太 秋	2002	313.1	7.1	18.2	
	2003	335.1	4.9	16.2	
	2004	258.3	4.7	15.0	
	2005	271.3	5.0	16.7	
	2006	—	—	—	台風により落果
	2007	283.0	4.6	18.2	
	平均	292.2	5.3	16.9	
松本早生富有	6カ年平均	186.3	5.5	16.7	

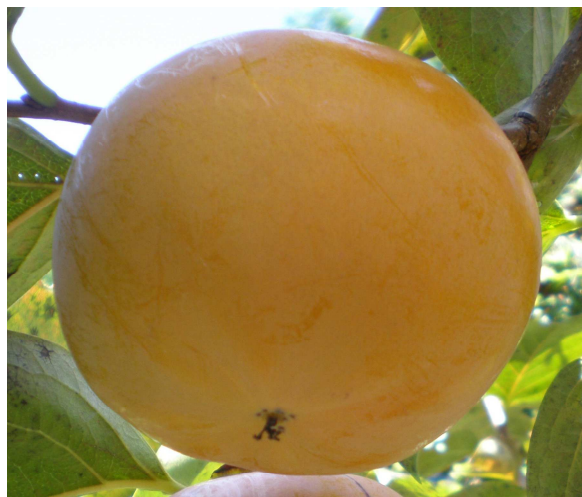


図1 太秋の着果状況

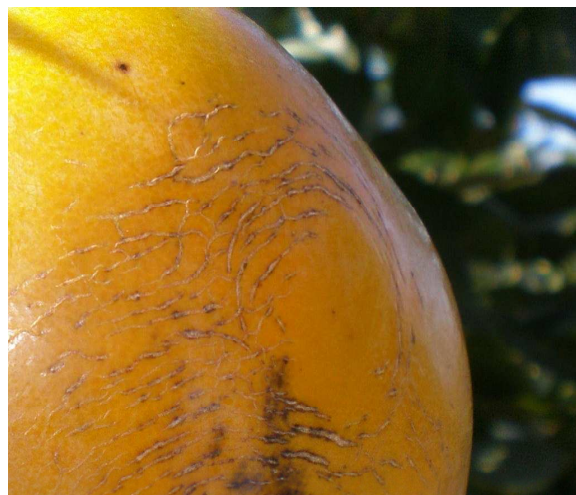


図2 太秋果面の条紋

[その他]

研究課題名：特定果樹の栽培法

予算区分：県単

研究期間：継 1983年度～

研究担当者：松浦 正、林田誠剛、田中 実